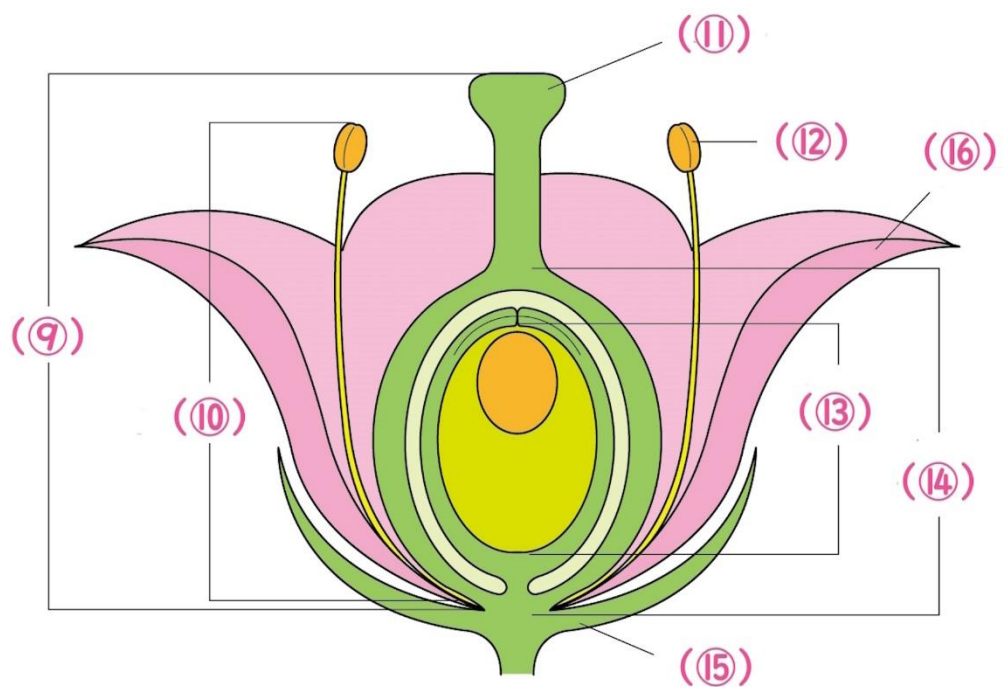


理科

② 生物の増え方

(1) 被子植物の生殖①

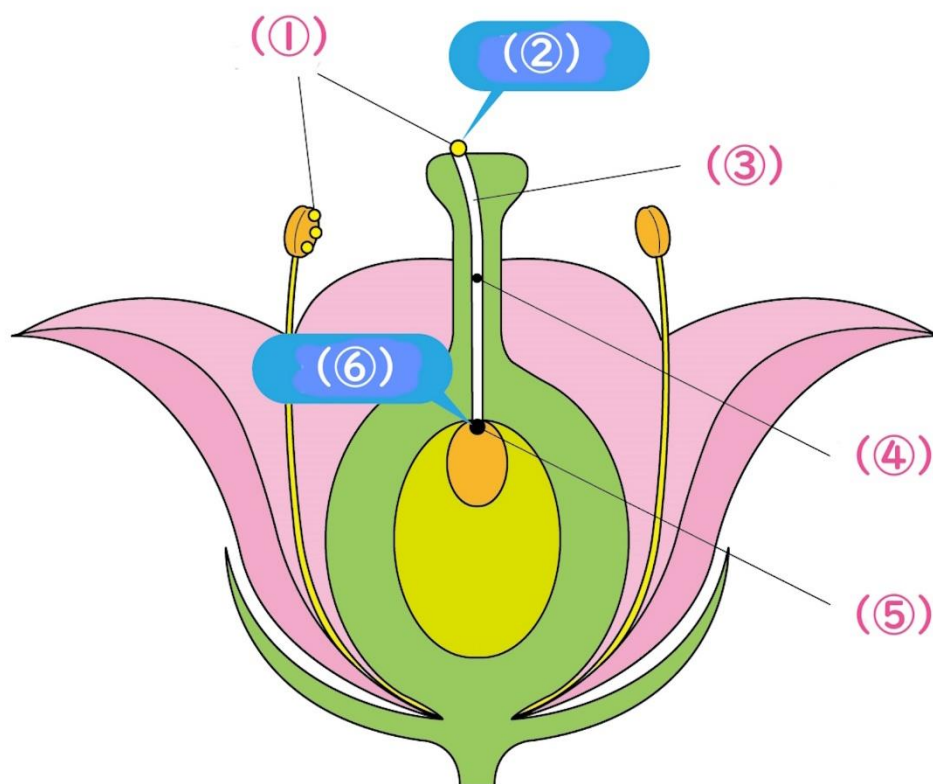
1. 生物が自分と同じ種類の仲間を増やす活動のことを(①)いう。
2. 子をつくるための特別な細胞で、親の遺伝情報を次世代へと伝える役割を持つ細胞を(②)という。
3. ②は植物では、(③)と(④)という。
4. ②は動物では、(⑤)と(⑥)という。
5. 受精卵が(⑦)になり、体が完成していく過程を(⑧)という。
6. 被子植物の各部の名称を答えなさい。



問題	解答	問題	解答	問題	解答
①		⑦		⑬	
②		⑧		⑭	
③		⑨		⑮	
④		⑩		⑯	
⑤		⑪			
⑥		⑫			

(2) 被子植物の生殖②

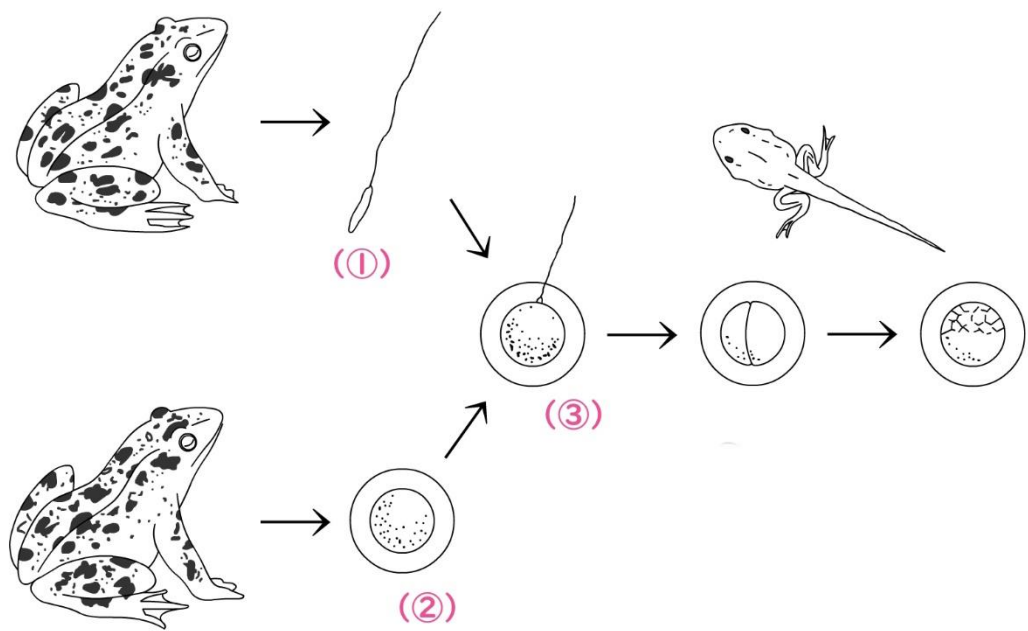
下の問題文を読んで各部の名称を答えなさい。



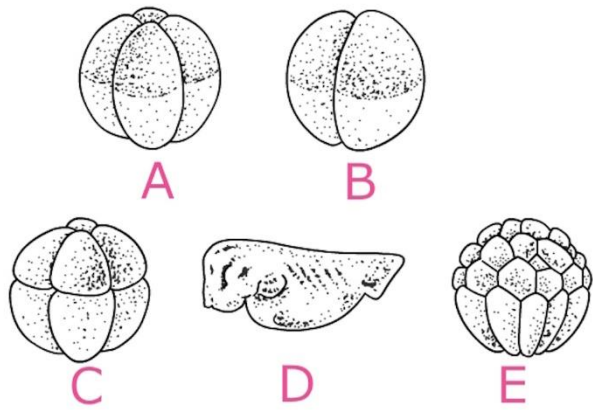
1. おしべの(①)がめしべの柱頭に付くことを(②)という。
2. (②)の後、花粉から(③)が伸び、その中を(④)が移動し、胚珠の中の(⑤)まで届けられる。
3. (④)の核と(⑤)の核が合体することを(⑥)といい、その結果できる細胞を(⑦)という。
4. (⑦)は細胞分裂をして(⑧)になる。胚珠全体は成長して(⑨)になり、それが発芽して新しい個体となる。

問題	解答	問題	解答
①		⑥	
②		⑦	
③		⑧	
④		⑨	
⑤			

(3) 動物の生殖



1. 雄の精巣で(①)、雌の卵巣で(②)がえられる。
2. (①)の核と(②)の核が合体する。このことを(③)といい、その結果できる細胞を(④)という。
3. (④)は細胞分裂をして成長をしていく。その成長の順に並べ替えなさい。(⑤)



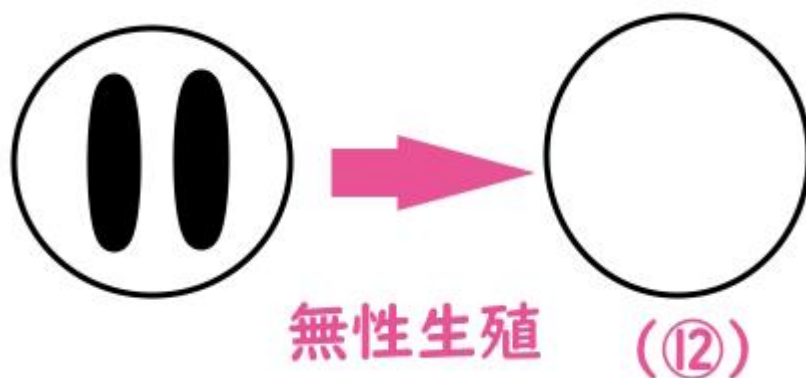
問題	解答	問題	解答
①		④	
②		⑤	
③			

(4) 生殖

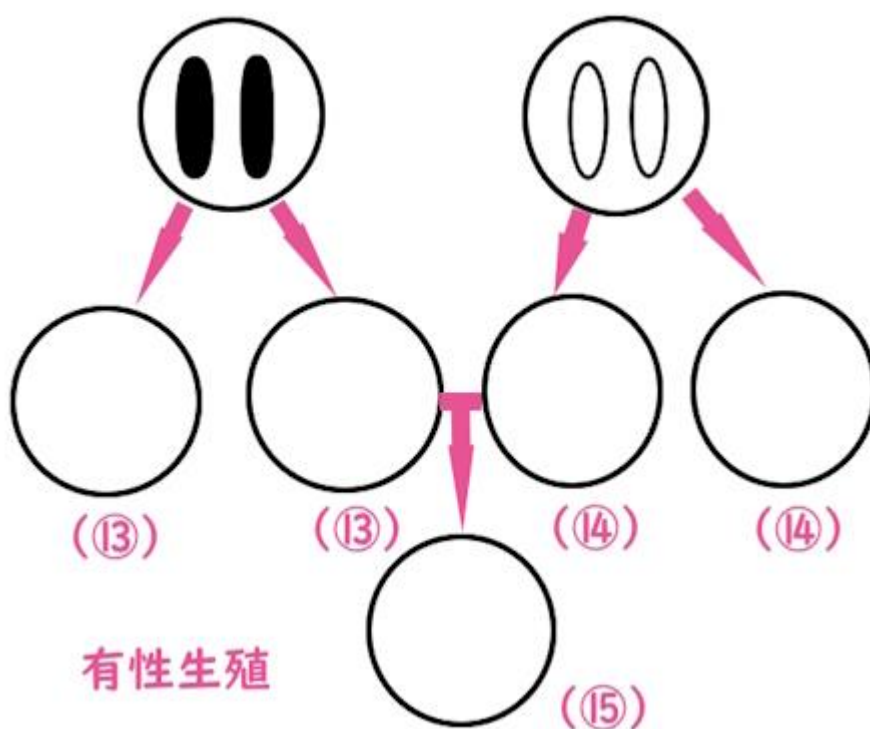
1. 生物の体の特徴となる形や性質を(①)という。
2. 親から子へ生物の特徴を伝えることを(②)という。
3. 染色体の中にあり、生物の特徴を決める情報を(③)という。
4. ヒトやカエルなど生殖細胞が受精することで子をつくる生殖を(④)という。
5. アメーバやゾウリムシなどの(⑤)は、受精をせず、体細胞分裂などによって子をつくる生殖を(⑥)という。
6. 子に親と同じ形質が現れることがない生殖は、(⑦)である。
7. ミカヅキモやゾウリムシなどの単細胞生物には、一般に雄と雌の区別があるのかないのか。(⑧)
8. プラナリアやアメーバーなどは、1つの個体が2つに分かれて新しい個体がつくられる。このような⑥を(⑨)という。
9. ヒドラ、サンゴなどでは、体の一部に突起が生じて成長し、それが分離して新しい個体となる。このような⑥を(⑩)という。
10. ジャガイモなどの植物の中には、種子から子が殖えるほかに、体の一部が独立して新しい個体となるものがある。。このような⑥を(⑪)という。

問題	解答	問題	解答	問題	解答
①		⑤		⑨	
②		⑥		⑩	
③		⑦		⑪	
④		⑧			

11. 無性生殖における染色体の様子を図を参考に作図しなさい。



12. 有性生殖における染色体の様子を図を参考に作図しなさい。



13. 生殖細胞をつくるときに行われる特別な細胞分裂を(16)といい、分裂後の細胞の染色体数が元の細胞の(17)になる。

問題	解答	問題	解答
(16)		(17)	